

KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016~  
2017年度  
テーマ

国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I.会長 ジョン.F.ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I.2720地区 ガバナー 前田真実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高源 ■会報担当：長野義文  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgro@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2016年8月22日】

第1226回  
2016-2017年度 第6回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓



「我等の生業」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (河島一夫 会長)

卓話者:  
農林中央金庫 熊本支店  
業務第1班 課長 宮野真由美 氏

友情の握手

会長スピーチ (河島一夫 会長)

今日で、17日間行われていたリオ・オリンピックが閉幕しました。四年に一度のアスリートの戦いだけあって見る者を引きつけてしまふ。そして、ロンドンオリンピックよりもどの競技も進化している様に思える。四年後の東京オリンピックが楽しみだ。今日でリオが終わったと言うことは、今日から東京オリンピックが始まったと言ってもいいかもしれない。

話は変わりますが、「りんどうロータリークラブ」の広報誌が届いています。りんどうロータリークラブは、会員皆さんが益城の方々に、例会場も被災を受けて暫くは例会も開けなかったと聞いています。しかしながら、会員の皆さんはボランティアで地域の方々に援助さ

れていました。1日も早く元の生活に戻られることを願ってやみません。それと、テーブルにお配りしましたチラシは、「漱石の四年三ヶ月」という劇が県立劇場であります。地震後、上演出来るかとの協議の末に行うこととなりました。被災されたお菓子の香梅さんも後援されるそうです。よかったら、チケットを購入願います。

幹事報告 (葉高源 幹事)

■報告事項(その他のロータリー関係)

①「地区誌III」の発送のお知らせ

地区誌が出来上がりました。2720地区の全クラブの情報とここ地区のあゆみが掲載されています。地区誌編集委員会の方々が1年以上かけて作成されましたのでご一読下さい。

②「玉名RC創立50周年記念式典・祝賀会」

日時:平成28年10月22日(土)

式典:14:00~15:00

講演:15:30~16:30(「私の人生と陸上競技」末續 慎吾 氏)

祝宴:17:00~19:00

場所:司ロイヤルホテル

登録料:10,000円

### 卓話予定

- 8/29 「会員増強クラブ・フォーラム」
- 9/4 「熊本グリーンローターアクトクラブ活動報告」※熊本グリーンRCとの合同例会
- 9/12 奉仕プロジェクトのクラブ・フォーラム
- 9/19 祝日(敬老の日)の為、休会
- 9/26 「台湾への道程」熊本電気鉄道社長 中嶋敬高氏(熊本RC)

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

例会変更・取止め

<変更>

【熊本西RC】

①8月23日(火)の例会は、暑気払い夜例会のため、同日18:30よりオーデンにて行います。

②8月29日(月)例会は、ガバナー公式訪問合同例会の為、同日12:30より、ホテル日航熊本にて行います。

【熊本菊南RC】

8月24日(水)の例会は、児童養護施設天使園夏祭りのため、8月23日(火)17:00より、熊本天使園にて行います。

【熊本東RC】

8月30日(火)の例会は、菊水学園夜市例会のため、8月27日(土)17:00より、菊水学園にて行います。

【熊本'05福祉RC】

9月13日(火)の例会は、県民総合運動公園公園清掃のため、同日06:30より、県民総合運動公園駐車場にて行います。

【熊本平成RC】

①9月14日(水)の例会は、ガバナー公式訪問合同例会の為、同日12:30より、ホテルキャスル11Fにて行います。

②9月28日(水)の例会は、観月会のため、同日19:00より行います。場所は未定です。

出席報告

(中島 三千代 会員)

	会員総数	22名	出席率
8月22日	出席免除会員数	1名	57.14%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	12名	
8月8日	前回の出席会員数	15名	76.19%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	16名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
8/9 熊本'05福祉RC 上田 君			

委員会報告

「ロータリーの友」8月号の内容紹介  
 報告者：田中 純司 クラブ広報委員長

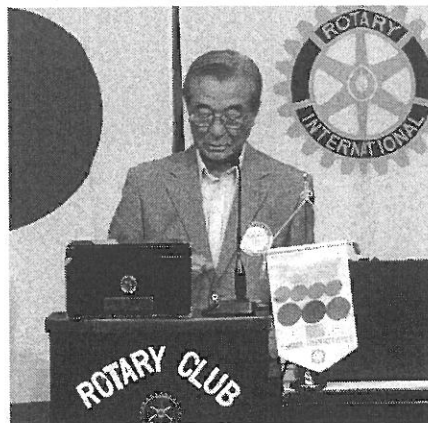
スマイル

(荒木一之 会員)

- 河島 一夫 君、葉 高源 君
- ①「リオ・オリンピックも終わり、高校野球全国大会も終わり、何かさびしい事です。しかし、暑い日々はまだまだ続きます、お体を大切に。」
- ②「今日、農林中金の宮野様の卓話です。宜しくお願い致します。」
- 仙波 洋八 君
- 「農林中金の宮野真由美課長の卓話、楽しみにしていました。よろしく願い申し上げます。私達が住んでいる熊本はとても良い郷です。あらためてそのことを知っていただくためにお呼びしました。女性活躍時代を象徴しているような活躍振りです。これからは熊本のことよろしく願い申し上げます。」
- 上田 観一 君
- ①「本日は農林中央金庫の宮野真由美課長に卓話を頂き、ありがとうございます。楽しみにしていました。宜しくお願い致します。」
- ②「家内の誕生祝いを頂きました。ありがとうございます。二人で体に気をつけて頑張っていきたいと思います。」
- 荒木 一之 君、大友 利行 君、十時義七郎 君、栗山 義則 君
- 「宮野様の御来訪を心より歓迎致します。卓話楽しみにして居ります。」

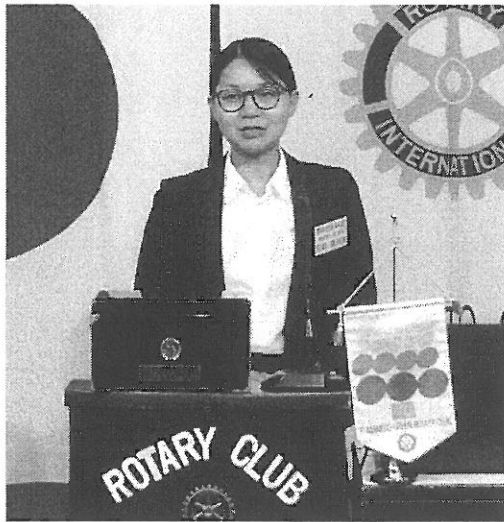
3. 例会プログラム

卓話者紹介：仙波 洋八 会員



卓話者

農林中央金庫 熊本支店 業務第1班  
課長 宮野真由美 氏



演題 「再発見の熊本」

出身地 熊本県玉名郡和水町(旧三加和町)

略歴

平成5年3月 三加和中学校 卒業

平成8年3月 熊本高等学校 卒業

平成12年3月 東京大学農学部 卒業

平成12年4月 農林中央金庫 大阪支店

平成15年7月 同 営業第一部(東京本店)

平成18年4月 同 農林部(東京本店)

平成21年7月 同 熊本支店

(平成24年11月 出産)

平成26年7月 同 熊本支店 業務第一班 課長

#### 4. 閉会・点鐘



[ハイライトよねやま 196より抜粋]

### 熊本・大分、元気です！－第2720地区夏季研修会－

第2720地区(熊本・大分)米山奨学委員会が主催する「夏季研修会」が7月23～24日、杵築市内で開催されました。2県にまたがる同地区で奨学生が一堂に会するのは、4月の熊本大地震後初めてのことです。まだ復興への道はスタートしたばかりであるにもかかわらず、奨学生・カウンセラー・地区委員は一人の欠席者もなく、前田眞実ガバナーを驚嘆させました。

緊張感あふれる1日目の研修では、ガバナーアドレス、当会理事の岡村泰岳氏の講演、同地区出身で現在、東京米山友愛RC会員となった林志英さん(1990-91/大分1985RC)のスピーチにより、人生の目標や奨学生としてのあり方を考えました。夕刻からは、バーベキューで笑顔がはじけました。ロータリアン・奨学生・学友による“米山ガールズ”のフラダンス、母国でプロ歌手の資格をもつ奨学生の歌唱、盛り上げ上手なネパール人奨学生のパフォーマンス――。外国人には物珍しいスイカ割り、キャンプファイヤーなど、盛りだくさんのプログラムでした。2日目は早朝散歩からスタートし、基調講演、一言スピーチ、グループディスカッションを経て研修会は終了しました。

「元気な熊本、元気な2720地区をお見せしたい」という秋吉実米山部門委員長長の意気込みどおり、ガバナー・ガバナー補佐をはじめ、米山に関わるすべてのみなさんの熱気を感じる2日間でした。





# ハイライトよねやま 197

2016年8月12日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 寄付金速報 — 2016-17年度もほぼ好調にスタート —

2016-17年度最初の月となる7月の寄付額は約2億1,200万円、前年度と比べて5.3%減（普通寄付金：2.8%減、特別寄付金：11.7%減）、約1,200万円の減少のスタートとなりました。2007年度以降最高額だった昨年度には及ばなかったものの、好調だった2014年度の寄付額とほぼ同額となりました。寄付者の皆様に厚く御礼申し上げます。日本のロータリーが世界に誇る米山奨学事業の継続と発展のため、今後ともご支援ご協力賜りますよう、よろしくお願いたします。

## 来春採用の奨学生募集がスタート

2017年4月の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で532校（前年度528校）。指定校からの被推薦者数は1,748人（前年度1,643人）で、この中から新規奨学生585人が選ばれます。

地区奨励奨学金（大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象）を導入した地区は13地区で、指定されたのは23校、そのうち初指定は6校でした。また、指定校への要望として、地区独自の選考基準を提示したのは34地区中31地区で、最も多かった要望は「被推薦者の国籍が偏らないように配慮してほしい」、次いで「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。募集要項・申込書は、7月29日に全指定校へメールで案内しました。

※2016学年度採用の指定校や募集要項などの書類は当会ホームページにて公開しています。

## 2016-17年度地区米山奨学委員長対象のセミナーを開催

2016-17年度が始まる直前の6月20日、当該年度の地区米山奨学委員長を対象に、第2回セミナーを開催しました。2012-13年度以降、次期米山奨学委員長セミナーは、「11月または12月」と「5月または6月」の年2回開催しており、後半となる今回のセミナーでは『どんな奨学生を採用し、どのように育てるか』について、講義とグループディスカッション、全体会議、質疑応答が行われました。

グループディスカッションでは、参加者は3グループに分かれ、下記テーマについて、ファシリテーターのリードで50分ずつ議論し、理解を深めました。

1. どのような学生を採用するか 【ファシリテーター】高野孫左門氏（選考委員）
2. どのように育てるか—学友会の重要性 【ファシリテーター】安増惇夫氏（第2700地区理事）
3. 海外応募者対象奨学金制度 【ファシリテーター】前田靖文氏（前・第2680地区評議員）

参加者アンケートでは、今回のセミナーについて、「他地区の選考方法の事例が参考になった。時間、内容を十分に検討したい」「海外応募者対象奨学金の導入を検討してみようと思った」「意見交換の切り口が適切で、ファシリテーターの誘導が上手だった」などのご意見をいただきました。また、「ディスカッションの時間が短く、発言が十分にできなかった」というご意見も多くいただきましたので、今後、改善を検討してまいります。

